

草の根ニュース 96号 2017年2月28日(偶数月刊行) 米軍居座り71年を機に、日本国民の主権と誇り正当な民族意識目覚めを!  
「平和的で責任ある政府が樹立されたとき、連合国の占領軍は、直ちに日本国から撤退しなければならない」(ポツダム宣言 1945年)。「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」(憲法前文)

～ 沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

# 草の根ニュース

基地と戦争なくす憲法9条実現政府のために

■本部(東京) : 〒150-0042  
東京都渋谷区宇田川町 19-5 山手マンション 1001  
■電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)

■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp  
■ホームページ : http://www.kusanone.org

■郵便振替口座: 00190-5-611535 沖縄・日本から米軍基地をなくす  
草の根運動  
米軍基地をなくす全国の会結成促進支援カンパ 大歓迎!

## 元米海兵隊員によりレイプされて殺されたあげく、 その遺体を遺棄された若い女性の犠牲者を慰霊



### 米軍基地を日本沖縄から撤去させなければ、 女性の人権も私たちの命も暮らしも守れない

米軍基地をなくす草の根運動 共同代表・弁護士  
平山 知子

1月21～24日まで沖縄に行ってきました。

#### 辺野古新基地建設 強行を確認 トランプ・安倍 日米共同声明

トランプ米大統領と安倍首相は、2月10日(日本時間11日)共同声明を発表し「長期的で持続可能な米軍のプレゼンスを確かなものにするため」辺野古強行を確認しました。

昨年4月28日、元米海兵隊員により、若い女性が、レイプされて殺された挙句、その遺体を遺棄された事件がありました。その犠牲者を慰霊するため、遺棄された場所の近くに献花台があると聞いていたので、どうしてもそこまで行きたいというのが、今回の沖縄行きの目的の一つでもありました。

1月23日午後、沖縄市からタクシーに乗り、金武町から県道104号線に入り、現場を目指し

ました。この104号線は、「県道越えの実弾砲撃演習」で有名なところです。いま、本土の、もっと広々とした演習場5箇所（北海道矢白別、宮城県王城寺が原、北富士、東富士演習場、大分県日出生台演習場）で米海兵隊が思う存分砲撃演習をしています。104号線は今は静かで、車も余り通りません。

現場は、金武町とは反対側の、西海岸に近いところだと聞いていました。かなりの距離を走り、山あいのやや上り坂の道を上っていくと、左側に献花台を見つけました。そこは、さらに左の奥へ入っていく細い道の入り口でした。

献花台は手作りの木製で、たくさんの花（まだ新しいものもありました）や飲み物、ペットボトル類が所狭しと置かれており、中央には、小銭が積まれておりました。私も、沖縄市のスーパーで買った小さな花を供えて冥福を祈りました。

若い女性が20歳そこそこで、レイプされ命を絶たれてこんな寂しいところに遺体を捨てられて・・・、どんなに怖かったろう・悔しかっただろうと考えると身が震える思いでした。

帰ろうとしたら、中年のタクシーの運転手さんから「ここでメーターを止めます。あとで、領収書をお渡ししますね」といわれ、私はちょっと意味が理解できなかったのですが、結果としては、帰りの運賃は受け取らないということだったのです。非常に恐縮しましたが、それにはこういう理由があったのです。

現場に向かう途中、当然のことながら、なぜそんな場所に向かうのかという話になりました。

運転手さんは、「基地がある限り、こういう事件は後を絶たないです」と訥々とした口調で話してくれました。「実は私の友人のお姉さんが、高校生の時に米兵にサトウキビ畑に連れ込まれ強姦されて、その後、ナイフで何度も刺されたのです」私が言葉を失っているとき、夫が「殺されちゃったのですか？」と聞くと「いや、命からがら逃げ出して命だけは助かりました」と。もちろんそんな事件は、闇から闇へと葬られ、裁判にもならず報道もされなかったでしょう。その女性がその後どんなに大きな心身の傷を抱いて、どんな人生を歩まれたのか、私には運転手さんに聞く勇氣はありませんでした。運転手さんとは、基地があるために、どんなにひどいことが繰り返されているのか、思いやり予算など、思いやる相手が全く間違っている、米軍基地はどんなことがあってもなくさなければ、私たちの暮らしと安全は守れないと、私たち夫婦と全く同じ意見だったのです。それに共感した運転手さんは、帰りの運賃を受け取らないということで、連帯の気持ちを表して下さったのです。私が恐縮してほんの気持ちだけ、お金を足してお渡ししたら、「おみやげに」と沖縄の柑橘類である「タンカン」を一袋下さったのです。甘くてみずみずしくてとてもおいしいタンカンでした。

あらためて、米軍基地を沖縄・日本から撤去させなければ、女性の人権も私達の命も暮らしも守れないと、決意を新たにす旅でした。

（ひらやま ともこ）

## 読者の声

**富田英司さま、澄子さま**（静岡市）この素晴らしい海は、沖縄県名護市安部（あぶ）部落の海岸、この海岸（写真左側上の浅瀬）に、米軍オスプレイが墜落した。海が汚染され人や魚への悪影響が心配されている。こんな事故や事件が戦後72年間も続いている。基地のない「沖縄の島」を実現させたい！ 全基地撤去ですね！

**辻 和子さま**（新宿区）闘いの先頭にお立ち下さいまして、ありがとうございます。何時もお励まし頂いているように存知しております。く

れぐれもお身お大切になさいますよう。この国の行末に希望を持たねば、創り出さねば。

**小俣光子さま**（港区）ご挨拶が今になり失礼致します。草の根の激しく粘り強い活動に励まされ乍ら、今年も愚直にこの国を「戦争をする国」にさせてはならない、その思いを共有して多くの方々とつながり進めてゆきたいと思っています。「全基地撤去による日本の独立以外に道はない！」強くつよく共感致します。ともにがんばりましょう。

■■■■さま (■■■■) いつも「基地なくす会」の会報送付をありがとうございます。はじめて「短歌」の会の皆さまにご協力頂きました。1月20日には、沖縄の方々へお会いできる機会があります。そのようなこともあり、せめて「署名を」と試みました。どうぞお体を大切にご活躍下さいませ。

■■■■さま (■■■■市) 勝つまで、がんばろう！  
■■■■さま (■■■■市) 戦後71年になるのに沖縄をはじめ日本はアメリカの占領状態、なんとしても辺野古、高江の新基地をつくらせないことだと思います。  
■■■■さま (■■■■市) 署名50筆送ります。引き続き署名進めます。健康に留意しご活躍を

詩	早春	
あ・け・み	白樺や落葉松の裸木が 黒く点々と続いている	
	戦場ヶ原の朝は 一面雪に覆われていた	
	雪肌は踏まれた跡もなく まぶしい光を放っている	
	照り返しに 目を細めながら	
	雪の下の そのまた下の	
	かすかな 水の音に耳をすます	

**抗議決議続報**—米海兵隊のMV 22 オスプレイが名護市安部 (あぶ) に墜落した重大事故に対する抗議決議や意見書を可決した市町村議会が、2016年12月23日までに41市町村の過半数の25市町村に上りました。那覇市議会は、22日に賛成多数で可決。抗議決議は、「圧倒的民意に逆らい24機が強行配備され、県民の上空を縦横無尽に飛び交い、生命と生活が脅かされる異常な状況である」と抗議。オスプレイの飛行を一切中止し、直ちに配備を撤回すること、米軍普天間基地を閉鎖・撤去し、県内「移設」を断念することなどを求めています。抗議決議や意見書を可決した議会は次の通りです。【沖縄県】【市】那覇、名護、うるま、沖縄、宜野湾、浦添、豊見城 (とみぐすく)、糸満、石垣の9市  
【国頭 (くにがみ) 郡】国頭村、東村、今帰仁 (なきじん) 村、恩納 (おんな) 村、宜野座 (ぎのぞ) 村、金武 (きん) 町、伊江村の1町6村【中頭郡】読谷 (よみたん) 村、嘉手納 (かでな) 町、北谷 (ちゃたん) 町、北中城 (きたなかぐすく) 村、中城村、西原町の3町3村

**草の根運動1月運営委員会  
全国組織「基地なくす会」  
結成のため団体回りを決定**

草の根運営委員会は、1月運営委員会で、全基地地図作製発注を承認し、小冊子『米軍基地リスト—全基地撤去のために』とともに活用すること、できるだけ早く団体回りに着手すること、そのための具体的打ち合わせを2月17日に行うことを決めました。決定に基づき、2月17日、労働組合を中心に入会と賛同を呼びかけることを決めました。  
**訪沖報告も行われました。**

**『地位協定入門』(前泊博盛編著) 学習会へどなたでもご参加を**

とき 2017年2月28日 (土) 5-6時  
ところ 草の根運動事務所 (東京都渋谷区宇田川町19-5 山手マンション1001、☎090-4175-2010)

テキスト 『本当は憲法より大切な日米地位協定入門』（創元社）

Q&A 5 「東京大学にオスプレイが墜落したら、どうなるのですか？」

## トランプにへつらうアベ、なぜか？

今こそ日米安保（基地）条約を終了させ、地位協定の破棄を！

福地春喜（米軍基地をなくす草の根運動 運営委員長代行）

トランプ米大統領の一言一言が、ニュースとして世界を駆け巡っています。EUの各国首脳らが、批判的になっているなか、安倍首相だけがトランプにへつらっている状況です。毎日毎日いろいろありますが、ここで一つ一つ論ずる必要はないでしょう。考えてみたいのはなぜそういう行動を安倍がするのかです。

安保（基地）条約第2条には、次のような条項があります。

「...締約国は、その国際経済政策におけるくい違いを除くことに努め、また、両国の間の経済的協力を促進する」

そして、日本国憲法第98条第2項は、「日本国が締結した条約及び確立された国際法規は、これを誠実に遵守することを必要とする」

安倍にしてみれば、トランプが「貿易のやり方を変える」とか「為替のやり方も変える」というような言動を発していますから、今まで確立されてきた経済関係を変えるということですから、その食い違いをとりのぞき、協力関係を進めなければならない、それは安保（基地）条約を守ることであり、憲法もそれを求めているということでしょう。

貢物をもって訪問し、ゴルフに明け暮れて、日米関係のさらなる強化を、それは、安保（基地）条約のより拡大強化ですが、約束するような、“やりかた”がいいかどうかは問題ですが。

私たち主権者国民にすれば、国際社会権規約の実行こそが、憲法98条第2項の求めているこ

とだと強調したいのですが、社会権規約は、ほぼ100%実行されていません。

(注) 経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（けいざいてき、しゃかいてきおよびぶんかてきけんりにかんするこくさいきやく、[英](#): International Covenant on Economic, Social and Cultural Rights、ICESCR）は、[1966年](#)12月16日、[国際連合総会](#)によって採択された、[社会権](#)を中心とする[人権](#)の国際的な保障に関する多数国間条約である。同月19日[ニューヨーク](#)で署名のため開放され、[1976年](#)1月3日効力を発生した。日本語では社会権規約（しゃかいけんきやく）と略称される。同時に採択された[市民的及び政治的権利に関する国際規約](#)（自由権規約、B規約）に対してA規約と呼ばれることもあり、両規約（及びその選択[議定書](#)）は併せて[国際人権規約](#)と呼ばれる。自由権規約が締約国に対し即時的な実施を求めているのに対し、本規約は、締約国に対し、権利の実現を「漸進的に達成」することを求めている（第2条）。（ウィキペディアから）

日本政府は、社会権規約を批准してから、その実行については、ずうっと次のような言い訳をしています。それは、この条約第2条1項「...権利の完全な実現を漸進的(ぜんしんてき)に達

### 基地なくす政党本部などが 草の根運動入会やカンパ

2月3日付で新社会党本部から、「沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動」へ会費の振り込みがあり、入会を確認しました。また、日本共産党地区委員会（複数）からもカンパなどが寄せられています。複数の社民党県連合から

成するため」を悪用して、「今国内法を整備したりして漸進的に進めているところだ、また、日本国は法整備ができており、人権侵害はありません」と。しかし、40年以上もこんないいわけが通るわけはありません。国連の人権委員会からは、「漸進的 といいながら、そんなに時間がかかるのか、早く実行せよ！」と言われていました。そして、ジュネーブの人権委員会会議の休み時間のお茶飲み話では、「本当に日本は先進国なのかなあ？整備するのに何十年もかかるなんて。主権者たる国民は、何しているのだ」と言われています。

国連の社会権規約を実行させるには、要は国民的運動の発展が欠かせません。しかし、ここで私は、それがうまくいかない要因の一つに、日米安保（基地）条約と地位協定があると思います。安保（基地）条約の「国際経済政策」に

### 世界は大きく変わる時と思う 一新春に思い浮かべたこと

2017年1月20日、アメリカ合衆国トランプ大統領が誕生しました。その経過なり、最近の情報等は、毎日ニュースになっており、ここでは論ずるまでもないことでしょう。私は、ここで世界史の見地から、そして地球儀を眺めての一考を記してみたい。地球儀をよくみると、地球は大きな陸地（アジア～ヨーロッパ～アフリカ）と大きな海、そのなかに巨大なアメリカという大きな島と、次にオーストラリア・南極大陸の島、そして無数の島々になっていることが読みとれる。この地球上に人類が現れて数万年は経つといわれるが、当初は、個々に集落を成し、今でいうなら細々と暮らしていたようである。そのうち、隣との連携・交流・交易が進んできたようである。なかには争いとなり、征服されるということもあったようである。そういう過程のなかで、技術が進歩し、生産力が向

ついては、「くい違いは話し合って解決するように」ということでしょう。しかし、基地条約第6条に基づく「在日米軍の地位に関する日米協定」を読めばすぐわかるように、それは、アメリカ政府の言うことをそのまま黙って実行せよ！ということです。一言も反論したりして話し合いできるものではありません。独立国と形はできたが、今の日米関係は占領状態のままなのです。形式的に「独立国」になっているにすぎません。

いまこそ安保（基地）条約10条に基づき条約を終了させる意思をアメリカ政府に通告し、通告後1年で条約は終了すること、基地条約に基づく地位協定を破棄するときだと思います。そうすれば国際社会権規約の実現もより現実となるでしょう。また、日本沖縄から米軍基地を引き揚げさせることができ、真の独立国になっていくのでは、ないでしょうか。

上し、ますます広く活動範囲を拡大してきたのであろう。そこで注目したいのは、征服されるのが恐れることから、自分の地域だけを外から入れないように囲って、自分たちだけの天下を作り謳歌するということも、時にはなされたようである。日本国という島国にもあったことである。それは、江戸時代の鎖国である。外国からの出入りを禁じて、一人謳歌したのである。250年余にわたって。当時は、江戸は世界でも有数の都市だったということである。勿論、今回のトランプのしていることは、鎖国とは異なる保護貿易ということでは、自分たちだけで「第一」にと、共通する面もあります。

ここで少し立ち止まって、なぜ江戸が250年余りも一時の成功をしたのだろうか、ということを考えてみたい。人類の進歩、技術は常に進歩し、生産力も常に向上していることですが、

今から半世紀も前は、飛行機はなかった。船旅も手数が多かった。情報が伝わるのは、シルクロードの行商達をもたらす程度で長時間かかった時代です。地続きのところであれば、隣を征服するには騎馬隊で攻めることもできたでしょうが、海があればそうはいかない。(元は日本攻めに失敗した) そんな時代であったから、一国で 250 年余も栄えたのでしょう。が、鉄道で陸路も発達し、船もスピードアップし、情報も電波の利用で速く伝わるようになった。今では、地球上どこに起こったニュースも、瞬時にして世界中に伝わるようになっている。このような時代に、半世紀も前のようなことをして、自分一人天下を作ろうとしても、不可能でしょう。

トランプが出現した背景には、今の資本主義経済の行きつくところとも言えなくもない。そ

### 今！存在「急迫不正の主権侵害」

米軍が、1945 年夏、日本占領体制を確立してから 71 年余りになります。1952 年 4 月 28 日発効の基地条約によって、ポツダム宣言(米英中ソによる 1945 年の宣言)の 12 条「日本が独立したときには、占領軍は直ちに日本から撤退すべし」に反して居座ってからも 65 年近くになります。昨年 4 月 28 日には、元米海兵隊員によって 20 歳の女性が強姦殺害遺棄されました。沖縄県では、復帰後だけで、氷山の一角で統計に表れた数字だけでも 575 件の凶悪事件が起こっています。71 年余り続けている毎日毎日の米軍機の耐え難い騒音、オスプレイの日本沖縄全土への配備、米軍の他国への侵略などは、いくら長期に居座ってしようと日本にとって現存する「急迫不正の主権と人権の侵害」以外の何物でもありません。この**米軍基地こそ**が、差し迫った日本の主権侵害であることは、『本当は憲法より大切な日米地位協定入門』(前泊博盛編著)を一読すれば明らかです。米日政府の催眠術に洗脳され主権意識を眠り込まされることなく、直ちに辺野古新基地工事阻止に立ち上がり、また「急迫不正の主権と人権の侵害」である全基地撤去へ「基地なくす会」を組織していかなければなりません。

これは格差の極限とでもいえるものか? ごく少数の大金持ち(政治を握っている)と、日々の食事をもままならぬ人達の増大、そのなかで「貧すれば鈍する」という誠のとおり、考えるという品性を失い、食をもとめて表面的に何かにありつけるというようなところに、飛びついていくようになるのです。相対的に経済力が落ちたアメリカでは、企業が閉鎖され、失業者が増大した地区が出てきたことはニュースでもご承知でしょう。そのようなところに、トランプの演説があれば、ほとんどの人が飛びついていくと思います。そういう結果が、大統領選だったと思います。が、アメリカの国民は気がついてきた側面があることは、過半数で当選したトランプが、就任時には支持が 50%を割ってきているというアンケート調査に表れました。

(アメリカ経済力が、相対的に下がったということは、中国はじめ発展途上国が生産力をつけて強まってきたからです。そういうなかで、今後の世界経済を考える時代となったのです。) さて、トランプは TPP 離脱、2 国間(自由)貿易交渉をしていく、と言っている。他方、防衛のため核兵器もさらに備えるという。「二国間交渉」ということでは、どういうことか。平等の話し合いなのだろうか。おそらく、トランプが「俺の言うことを聞け」という交渉なのではなかろうか。言うこと聞かなければ、絶縁だ、と。このやり方は、一度は成功するかも知れないが、長続きしないでしょう。アメリカ抜きで、生産力を高めてきた発展途上国同士が交流、交易を活発にしていけば、アメリカに買ってもらわなくても、やっていけるようになるのだから。

今一度、地球儀を見てみましょう。陸続きであるアジア～ヨーロッパ～アフリカは、いろいろ今は紛争が多く問題も多いわけですが、交流・交易は物理的には、より容易なのです。なにも大きな島アメリカを相手にしなくてもです。ウワサによれば、シベリア鉄道を北海道に延ばす計画があるとか、そうなれば、遠き将来かも知れませんが、鹿児島で新幹線に乗り、北

海道を経て、シベリア鉄道でモスクワへ出、それからパリを経由して海底トンネルでロンドンに行く、他方、パリから南下し、スペインにも行ける。今は大変な状況だがパリからイタリア経由して、中米の方へ、さらにはアフリカまで辿りつけるようになるのではないか。嫌味をいうなら、大きな島アメリカは、アメリカだけでやってくれ！と言いつきたいですネ。

ともかく、世界全体が皆が幸せになるようにし

たいですネ。足元、日本でもトランプのような安倍の出現と言えないだろうか。大学出ても職がない若者が増えています。高齢者はますます冷遇されています。情勢は、決して良くはないのです。とにかく、安保条約を終了させ、日米地位協定を破棄させねばならないですネ。以上、思いのまま

(ふくち はるき)

## オール沖縄と多数日本国民が反対してきた 辺野古新巨大米軍基地埋め立て着工

元米海兵隊員軍属が「日本沖縄」の20歳の女性をレイプ殺害遺棄した米軍基地を「長期存続」



辺野古崎地区およびこれに隣接する水域に普天間飛行場の代替施設を建設する計画にコミットすることを確認」「これは、普天間飛行場の継続的な使用を回避するための唯一の解決策である」と、米日両政府が死に物狂いで基地建設を実行しようとしていることを示しています。

平山草の根共同代表は、1月22日、ヘリ基地反対協の幹部の「平和丸」に乗船し、瀬高の港から、広大な米軍基地キャンプシュワブが見える大浦湾の埋め立て予定海面を、座り込みテントのある辺野古海岸に向かって航行し視察しました。兵庫民主商工会の方がたとの同乗でした。

写真は、「臨時制限区域」を示すフロート（浮き具）で、カヌーなどで乗り越えられないよう新たに2本の縄を張り巡らしています。これが広大な海面に張り巡らされます。

船上から見る事ができる美しいサンゴ礁も投入された巨大なコンクリートブロックで回復不能に破壊されるのです。全国民的な力でこの破壊活動を阻止しなければなりません。

2016年12月13日、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸機MV22オスプレイ墜落事故の後2か月も経たない2017年2月6日午前8時40分、防衛省沖縄防衛局は、米軍新基地建設に伴う名護市辺野古の埋め立てに関わる海上工事に着手しました。米日政府は、2月3日“狂犬”というあだ名のあるイラクファルージャ攻撃の司令官マティス国防長官と安倍首相の会談で辺野古基地建設強行を確認した直後でした。ファルージャ攻撃には、沖縄の米海兵隊も参加し市民を多数虐殺したことで有名です。辺野古着工を手土産に、安倍首相は、10日訪米し日米共同声明を発表。「長期的で持続可能な米軍のプレゼンス（注、居座り占領のこと）を確かなものにする」ために「日米両国がキャンプ・シュワブ



# 「基地被害『怒りは限界を超えた』」

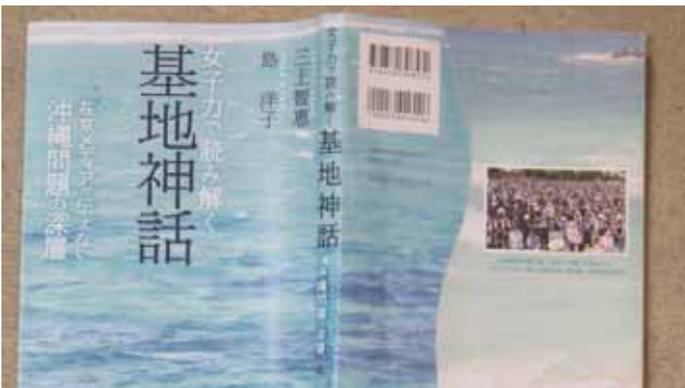
書評『女子力で読み解く 基地神話』三上智恵・島洋子（かもがわ出版）

昨年9月1日出版の本書は、副題を「在京メディアが伝えない沖縄問題の深層」としていません。私のこの書評のタイトルは、昨年4月の米元海兵隊員による20歳の女性強姦殺害遺棄事件を扱った第1章の表題でもあります。

三上智恵さんは、東京生まれで元琉球朝日放送アナウンサー、ドキュメンタリー映画「標的の村」の監督として知られています。島洋子さんは、沖縄県生まれで東京支社報道部長などを経て琉球新報政治部長。おふたりの女性ジャー

2章「普天間・辺野古の20年と『オール沖縄』」  
3章「宮古・石垣島への自衛隊配備と米戦略」4章「沖縄基地神話と沖縄・在京メディア」からなり、序章「私にとっての沖縄」、「おわりに」「対談を終えて」と共に、わかりやすく、「日本沖縄」問題を指摘しています。三上さんが「沖縄を襲う嵐の『風かたか（風除け）』に」という思いもまた、沖縄県をふくむ祖国日本全体への、評者の思いに通じます。

ぜひ、できるだけ多くの女性に読んでいただきたいということと、ある意味ではそれ以上に男性に読んでいただきたいと思いました。「沖縄・日本から米軍基地をなくす草の根運動」が15周年総会で、「日本沖縄」の全基地撤去をめざし、どんな困難があっても、全都道府県、全（地区）市区町村、職場地域学園に「基地なくす会」をつくるという方針を打ち出したのは、「全基地撤去」とそれを実現する力、全国組織「基地なくす会」結成以外に再発防止の道がないからであり、沖縄県民を当然含む日本人として「怒りは限界を超えた」からなのです。（H.M）



ナリストが、対談で語っていることは、まことに正論で、沖縄問題を語りながら、日本沖縄問題を鋭く衝いています。その語り口には、当然の人間としての正当な「怒り」があり、完全に評者は同感します。



訪問と米元海兵隊員による強姦殺害遺棄の被害者平和丸による視察は、全基地撤去へなみなならぬ者の皆様に、若い被害者女性への追悼と決意が「草根」っています。前号『米軍基地リスト』ご活用も。